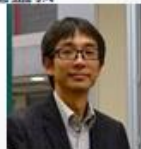


災害とコミュニティ・レジリエンス

2017/10/21

公立大学法人宮城大学
事業構想学部 兼 事業構想学群(地域創生学類) 兼 基盤教育群 / 社会工学系 准教授

石田 祐



1. 災害とコミュニティ・レジリエンス (1)

--災害課題の難しさ--

- 災害は地域コミュニティの生活基盤を崩壊させる
- 大規模災害では様々なことが複合的に生じることもあるため、想定内に収まらず、想定外の事態に多々陥る
- そのような災害を技術的に解決することは難しい
- そのような災害では多数のステークホルダーが関わることになり、解決が難しく「厄介な政策課題」となる

Aldrich, P. (2014) 『ソーシャル・キャピタルと災害』 『ESTRELA』 #2

災害とコミュニティ・レジリエンス (2)

--ソーシャル・キャピタル--

- 減災のための事前の代替策は復興過程に影響を及ぼす
- 「社会的インフラ強化」への注目が多くなっている
- ソーシャル・キャピタルはコミュニティ・レジリエンスに重要な影響を与える

「地理的に定義された地域あるいは近所の人々が、被災時に協働してストレス要因に対処し、効率的に日常生活のリズムを取り戻すための集合的な能力」 (Aldrich 2012)

Aldrich, P. (2014) 『ソーシャル・キャピタルと災害』 『ESTRELA』 #3

災害とコミュニティ・レジリエンス (3)

--SCの政策への応用--

- 緊急災害場面での助け合いで信頼・規範のあるネットワークは有効に機能してきた
- 復興過程での助け合いやつながりは復興を促進する役割を果たしてきた
- そのようなことの認識はあるが、政策への活用は不十分なままである
- 政策に活用するためには測定できることが求められる

Aldrich, P. (2014) 『ソーシャル・キャピタルと災害』 『ESTRELA』 #4

2. コミュニティとSC (1)

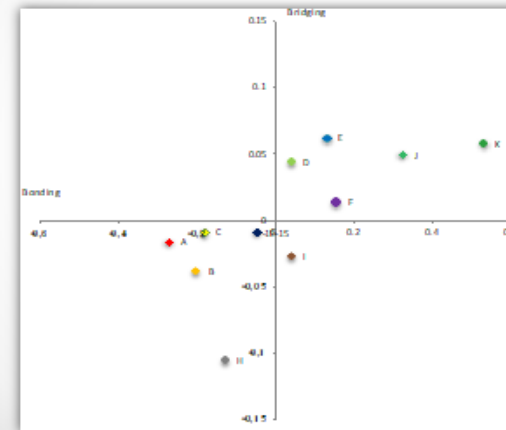
--町丁目単位での測定--

- ボンディング、ブリッジングを測定
- 地区（町丁目単位）にはそれぞれ特性がある（例：販売促進のためのDMをどこ(誰)に配るか。高齢者が好む商品を若者一人暮らしが多く住む地域にDMをまいても成果は上がらない）
- 地区類型別に集計し、散布図を作成
- 測定値を地図上で可視化

藤澤・石田 (2014) 『コミュニティ・レジリエンスの地域間比較』 『ESTRELA』

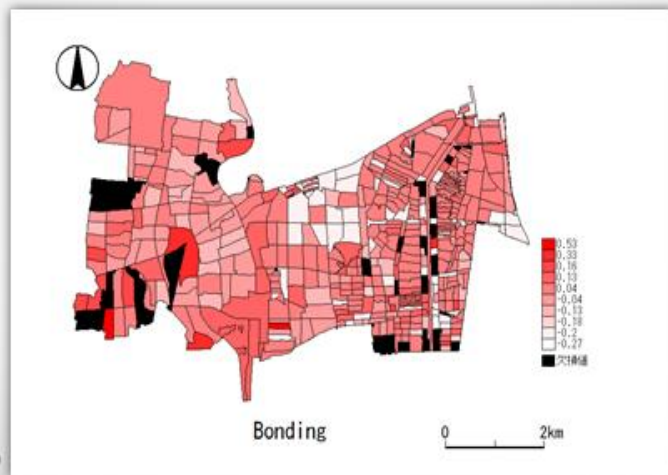
社会地区類型グループとSC (1)

--Bonding(Y軸)とBridging(X軸)--



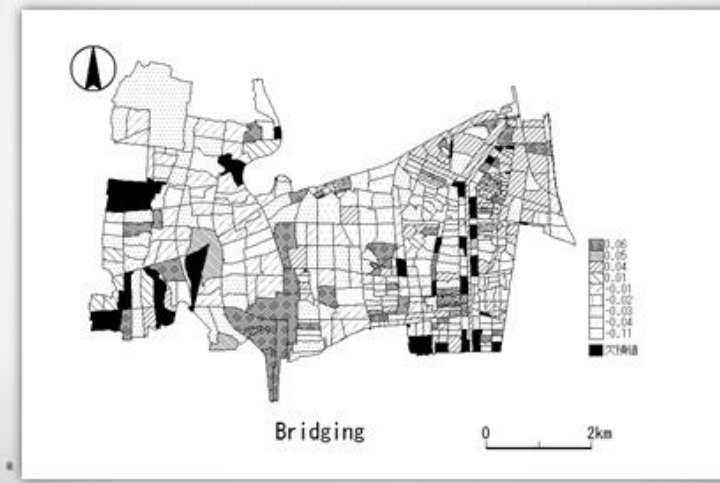
社会地区類型グループとSC (2)

--町丁目単位で見るBonding--



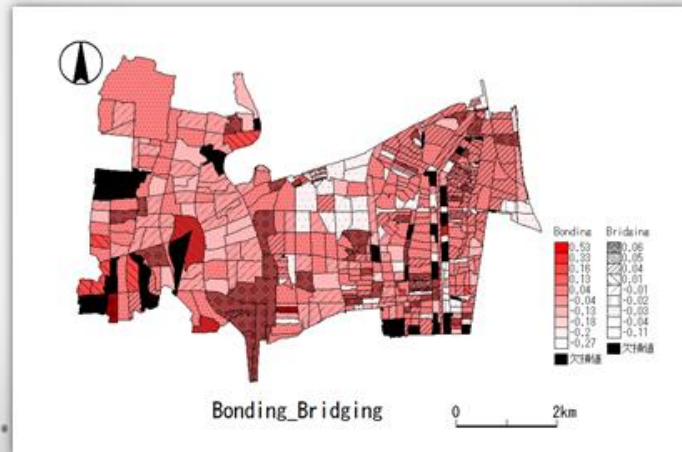
社会地区類型グループとSC (3)

--町丁目単位で見るBridging--



社会地区類型グループとSC (4)

--町丁目単位で見るBonding & Bridging--



2. 課題

--測定の次--

- ボンディング、ブリッジングを測定し、可視化可能
- 実践、政策へと展開するためには?の検討

藤澤・石田 (2014) 『コミュニティ・レジリエンスの地域間比較』【ESTRELA】

3. 減災視点のコミュニティレジリエンス (1)

--SCと防災リテラシー--

- コミュニティ・レジリエンスの要素としてSCは重要
- ただ、信頼・規範・ネットワークがあるだけでは、助け合いはできるが、災害環境下で実践できるか不明
- 災害に対する防災リテラシーが必要
- 防災リテラシーとSCの両方を備えられているか?
- SCが高いと防災リテラシーが促進されるか?

石田・藤澤 (2014) 『コミュニティ・レジリエンスの測定』【ESTRELA】 11

減災視点のコミュニティレジリエンス (1')

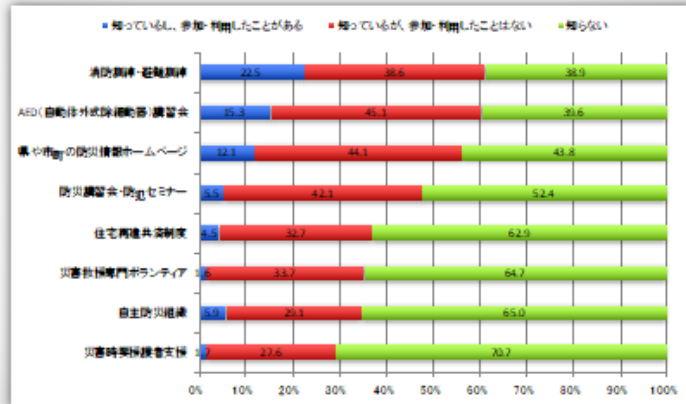
--図示--



石田・藤澤 (2014) 『コミュニティ・レジリエンスの測定』【ESTRELA】 12

減災視点のコミュニティレジリエンス (2)

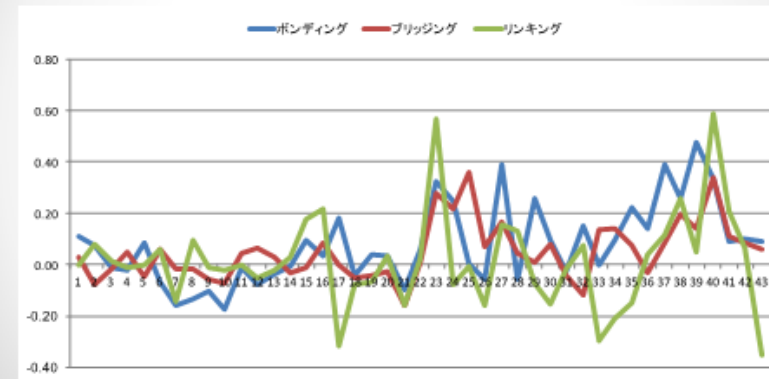
--兵庫県民を対象にした調査から--



石田・藤澤 (2014) 『コミュニティ・レジリエンスの測定』『ESTRELA』13

減災視点のコミュニティレジリエンス (3)

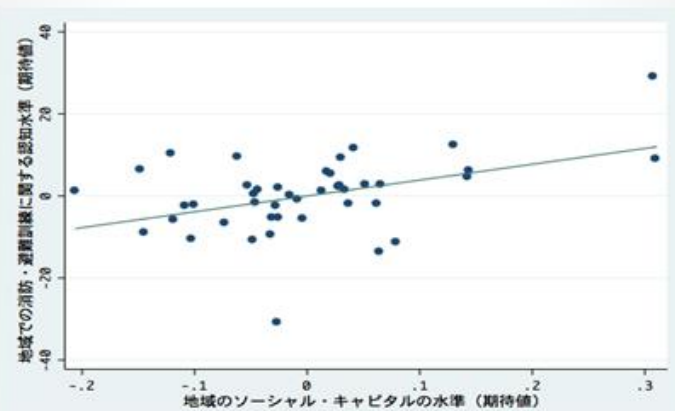
--兵庫県市町単位でみるSC--



石田・藤澤 (2014) 『コミュニティ・レジリエンスの測定』『ESTRELA』14

減災視点のコミュニティレジリエンス (4)

--SC(x)と防災情報の認知(y)の関係--



石田・藤澤 (2014) 『コミュニティ・レジリエンスの測定』『ESTRELA』15

減災視点のコミュニティレジリエンス (5)

--SCと防災リテラシー--

- 地域のSC水準が高いと防災関連の備えがより促進される可能性がある
- SCが高いと防災の備えが進み、より高いレジリエンスが発揮できると考えられる
- 地域の「どの」SCが高いことが求められるかについては分析が必要 (ここでは3つのSCにウェイトをかけず、平等に加味して統合SC指標を作成している)

石田・藤澤 (2014) 『コミュニティ・レジリエンスの測定』『ESTRELA』16